

令和6年度消費生活相談の状況

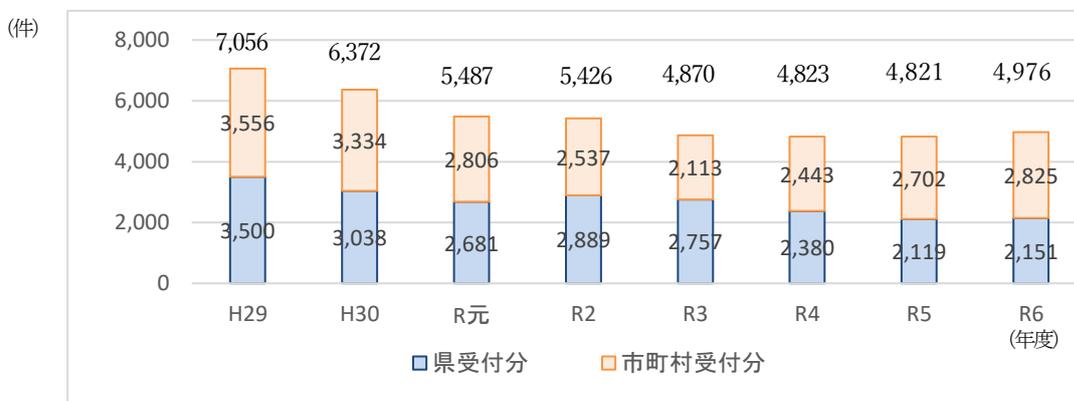
令和7年6月12日

令和6年度の県内消費生活相談の状況についてお知らせします。

【概要】

- 県及び市町村の消費生活センター・消費生活相談窓口への相談件数は4,976件で、前年度から155件増加した。
- 内容別では、「商品一般」（身に覚えのない請求、引き落とし等）に関する相談が前年と同じく最多となった。（591件、構成比11.9%、前年比66件増）
- 年代別では、60歳代を当事者とする相談が最多（860件、構成比17.3%、前年比30件減）で、次いで70歳代（831件、構成比16.7%、前年比59件増）となっており、依然として高齢者からの相談割合が大きい。
- 若者を当事者とする相談は、19歳以下は92件で、前年度から5件減少、20歳代は293件で、前年度から22件増加した。若者の相談では、「内職・副業」、「融資サービス」、「他の教養・娯楽（ネットゲーム、ギャンブル等）」などに関する相談割合が他の年代に比べて大きかった。
- 20歳代・30歳代の相談内容の中では、「融資サービス」に関する相談が最も多く、40歳代でも昨年度より「融資サービス」に関する相談割合が増加した。

【相談件数の年度別推移】



【主な相談内容】※構成比は相談内容の確認できた総数4,976件を基に算出

順位 (前年)	相談内容	件数 (構成比)	順位 (前年)	相談内容	件数 (構成比)
1 (1)	商品一般（身に覚えのない請求、引き落とし等）	591 (11.9%)	6 (-)	レンタル・リース・貸借（賃貸住宅、レンタル・リースサービス）	182 (3.7%)
2 (2)	化粧品（美容液、ニキビクリーム等の定期購入等）	340 (6.8%)	7 (6)	相談その他（個人間借金、労働相談など消費者問題以外の相談）	142 (2.9%)
3 (3)	役務その他（不用品回収、保険申請サポート、占いサイト等）	286 (5.7%)	8 (-)	インターネット通信サービス（インターネット接続回線等）	141 (2.8%)
4 (4)	融資サービス（多重債務、サラ金・ローン等）	242 (4.9%)	9 (7)	他の教養・娯楽（インターネットゲーム、出会い系サイト、ギャンブル等）	138 (2.8%)
5 (5)	健康食品（食品、サプリメント等の定期購入等）	200 (4.0%)	10 (9)	移动通信サービス（スマートフォン・携帯電話、Wi-Fi等）	133 (2.7%)

【契約当事者の年代別相談件数】

区分	R6年度	構成比%	R5年度	構成比%	増減	[増減率%]	主な相談内容の1位
19歳以下	92	1.8%	97	2.0%	△5	△5.2%	他の教養・娯楽
20歳代	293	5.9%	271	5.6%	22	8.1%	融資サービス
30歳代	330	6.6%	305	6.3%	25	8.2%	融資サービス
40歳代	539	10.8%	553	11.5%	△14	△2.5%	商品一般
50歳代	739	14.9%	628	13.0%	110	17.7%	化粧品
60歳代	860	17.3%	890	18.5%	△30	△3.4%	化粧品
70歳代	831	16.7%	772	16.0%	59	7.6%	商品一般
80歳以上	427	8.6%	366	7.6%	61	16.7%	商品一般
不明	865	17.4%	939	19.5%	△74	△7.6%	商品一般
計	4,976	100%	4,821	100%	155	3.2%	